イジェクトユーティリティーについて

イジェクトユーティリティーとは、USB メモリーや外付けハードディスク、外付け DVD ドライブなどをパソコンから安全に取り外すためのユーティリティーです。機器（ドライブ）ごとにアイコンを変更できますので、取り外す機器がアイコン表示されるため分かりやすく、簡単に取り外しができるようになります。

● イジェクトユーティリティーは、Windows 7（64/32bit）/Vista（64/32bit）Service Pack 2 以降 / XP Service Pack 3 以降のみ対応です。

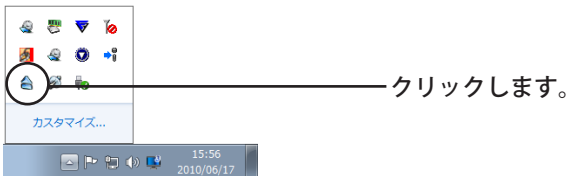
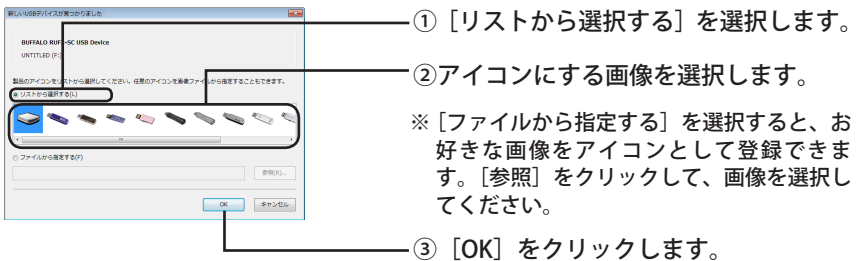
※このマニュアルでは Windows7 の画面を使って説明しています。

アイコンの登録方法

USB 機器（ドライブ）ごとにイジェクトユーティリティーで表示するアイコンを登録できます。新しい機器を接続した時に、以下の手順でアイコンの登録を行ってください。

1　BUFFALO Tools ランチャーからイジェクトユーティリティーのアイコンをクリックするか、タスクトレイにあるイジェクトユーティリティーのアイコンをクリックします。

■ Buffalo Tools ランチャーから登録する場合

■タスクトレイから登録する場合

2　「新しいデバイスが見つかりました」と表示されます。

※この画面が表示されない場合は、すでにアイコンが登録されています。変更したい場合は、アイコンの変更手順（P.3）でアイコンを変更してください。

以上で、アイコン変更の手順は完了です。

取り外し方法

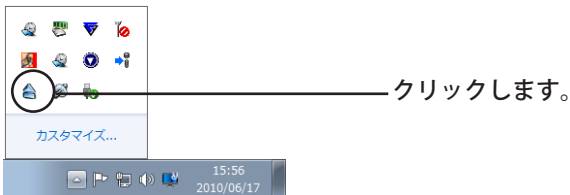
イジェクトユーティリティーを使って USB メモリーなどを取り外す場合は、以下の手順で行ってください。

⚠注意 USB メモリー、外付け HD、外付け DVD ドライブからアプリケーションを起動したりファイルを開いている場合は、終了させてください。

※ Blu-ray ドライブや DVD ドライブの場合、ディスクが入っているとディスクが取り出されます。ドライブを取り外す場合は、再度以下の操作を行ってください。

1 **BUFFALO Tools ランチャーからイジェクトユーティリティーのアイコンをクリックするか、タスクトレイにあるイジェクトユーティリティーのアイコンをクリックします。**

■ Buffalo Tools ランチャーから取り外しをする場合

■タスクトレイから取り外しをする場合

2 **本製品に接続されている機器（ドライブ）がアイコンで表示されますので、登録した取り外す機器のアイコンをクリックします。**

※ 各アイコンの下に表示されているアルファベットは、各機器（ドライブ）のドライブ文字です。

接続機器の一覧がアイコンで表示されます。

マウスカーソルをアイコンの上に持っていくと、「取り外し」と表示されるので、クリックします。

3 「取り外せます」と表示されたら、機器をパソコンから取り外してください。

Blu-ray ドライブや DVD ドライブの場合、ディスクが入っているとディスクを取り出し、本製品の取り外し操作を行いません。本製品を取り外すには、再度手順 1 から行ってください。

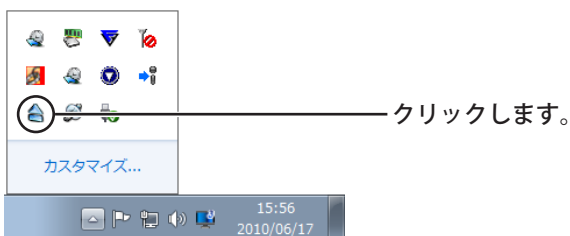
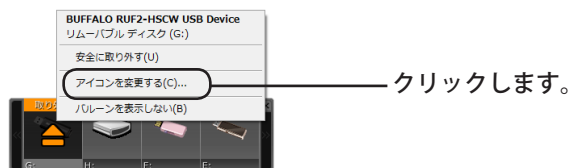
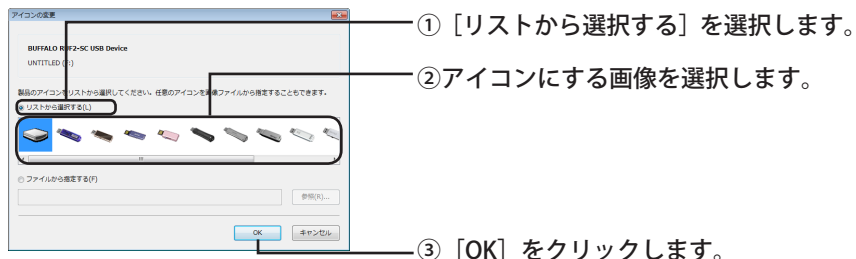
以上で、取り外しは完了です。

アイコンの変更

取り外しユーティリティーで表示される各機器のアイコンは、以下の手順で変更できます。

1 BUFFALO Tools ランチャーからイジェクトユーティリティーのアイコンをクリックするか、タスクトレイにあるイジェクトユーティリティーのアイコンをクリックします。

■ Buffalo Tools ランチャーからアイコンの変更をする場合

■タスクトレイからアイコンの変更をする場合

2 変更したいアイコンを右クリックし、［アイコンを変更する］を選択します。

3 変更したいアイコンを選択し、[OK] をクリックします。

メモ ［ファイルから指定する］を選択すると、お好きな画像をアイコンとして登録できます。［参照］をクリックして、画像を選択してください。

以上で、アイコン変更の手順は完了です。

アンインストール方法

取り外しユーティリティーが不要になった場合は、以下の手順でアンインストールできます。

1 パソコンの電源を ON にし、コンピューターの管理者権限をもつアカウントでログインします。

2 ［スタート］－［(すべての) プログラム］－［BUFFALO］－［Eject Utility］－［アンインストール］を選択します。

以降は画面の指示に従ってアンインストールしてください。